

「つながりから苛立ちと感謝が生まれる」笑い飯哲夫さんの言葉です。

昨今、盛んにつながりを深めようと言われる。しかし、実際は多くの人が深めようとしていないと感じます。それは、つながりに面倒な一面があるからでしょう。例えば法事。家族以外を案内すれば食事やお返しに手間が増え、時には軋轢も。昔は親戚、近隣で助け合った田植えや介護も、今はお金を出せば何とかなります。得られるものがあっても、苛立ちが生まれるならば、そのつながりはいらないと考えるのも一理あります。

私たちは思い通りにならないことが嫌で、思い通りになる範囲で生きていこうとしているのかもしれない。思い通りにするには、すべてを私一人で成り立たせなければなりません。他者は私の思い通りになりませんから、思い通りになるのは私以外誰もいない世界。苛立ちが生まれないでしようが、空しいでしょう。思い通りにならないのは、つながりが、はかりしれないはたらきが私を成り立たせているということ。苛立ちが生まれるとしても、つながりを大切に感謝が生まれる世界に生き、皆それぞれ思いを持っているのだからと苛立ちも受け入れていきたいものです。

